



取扱説明書

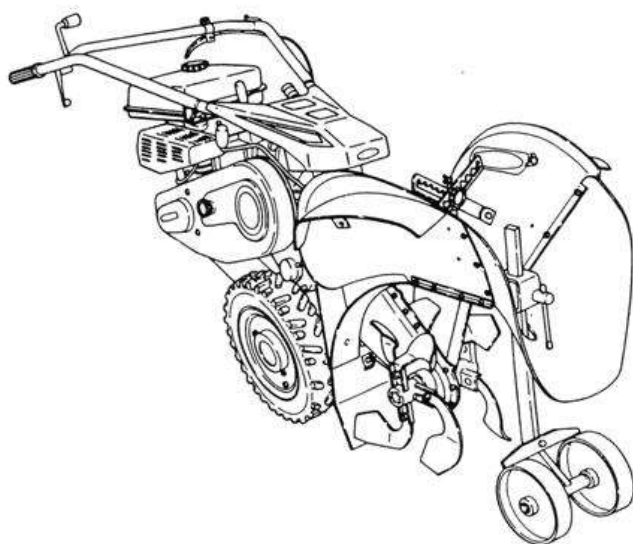


当製品を安全に、また正しくお使いいただくために必ず本取扱説明書をお読みください。お読みになった後も必ず保存してください。

機種名

MV-50V
MV-70V
MV-70VP

マメトラ V車リターン



マメトラ 農機株式会社

はじめに

マメトラV車リターンをお買い上げいただき
ありがとうございます。

この取扱説明書は「マメトラV車リターン」MV・50V・MV・70V・MV・70VPの取扱方法と
使用上の注意事項について記載してあります。ご使用前には必ず、この取扱説明書を熟知する
までお読みのうえ、正しくお取扱いいただき、最良の状態でご使用ください。

お読みになったあとも必ず製品に近接して保存してください。

製品を貸与される場合は、この取扱説明書を添付してお渡しください。取扱説明書を紛失、
汚損された場合は当社又は、当社の特約店に連絡してください。

なお、品質・性能向上あるいは安全上、使用部品の変更を行なうことがあります。
その際には、本書の内容および写真・イラストなどの一部が、本製品と一致しない場合があ
りますので、ご了承ください。




ご不明のことやお気付きの点がございましたら、お買い上げいただきましたお近くの特約
店・販売店にご相談ください。

本書に記載した注意事項や機械に貼られた  の表示がある警告ラベルは、人身事故の危険が
考えられる重要な項目です。よく読んで必ず守ってください。

なお、警告ラベルが汚損したり、はがれた場合はお買い上げの販売店に注文し、必ず所定の位
置に貼ってください。

◆注意表示について

本取扱説明書では、特に、重要と考えられる取扱い上の注意事項について次のように表示し
ています。

- | | |
|---|---|
|  危険 | その警告文に従わなかった場合、死亡または重傷を負うことになる
ものを示します。 |
|  警告 | その警告文に従わなかった場合、死亡または重傷を負う危険性があ
るものを示します。 |
|  注意 | その警告文に従わなかった場合、ケガを負うおそれのあるものを示
します。 |

サービスと保証について

☆保証書について

「保証書」はお客様が保証修理を受けられる際に必要となるものです。お読みになった後は大切に保管してください。

☆アフターサービスについて

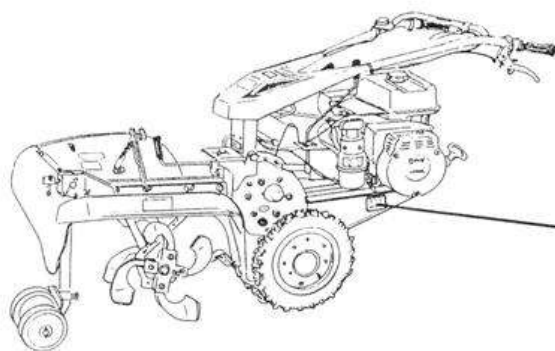
機械の調子が悪いときに点検、処置しても、なお不具合があるときは、お買い上げいただいた販売店、農協、お近くの当社営業所までご連絡ください。

連絡していただきたい内容

- 型式名・区分
- 機体番号・エンジンの場合エンジン番号
- 故障内容（できるだけ詳しく）

☆補修部品の供給年限について

この製品の補修用部品の供給年限（期間）は、製造打ち切り後9年です。ただし、供給年限内であっても、特殊部品については納期などをご相談させていただく場合もあります。補修用部品の供給は、原則的には上記の供給年限で終了しますが、供給年限経過後であっても、納期および価格についてご相談させていただきます。



〔例〕

農業機械の種類	農用トラクター（歩行型）
型式名	マメトラMV-50
区分	
エンジンの型式	GM181LN-358
機体番号	0001XX
製造・販売元	マメトラ農機株式会社

☆取扱説明書について

本機取扱説明書を紛失、破損した場合はコードNo.112 1950 000でご注文ください。

目次

● はじめに	I
● サービスと保証について	II
● 目次	1
1 安全作業のための心得	2
2 安全標識の貼付位置	6
3 各部の名称	8
4 作業前の点検	9
5 上手な運転のしかた	11
エンジンの始動方法	11
発進のしかた	12
停止のしかた	13
6 簡単な手入れと処置	14
7 作業が終わったら	15
8 運搬作業をするとき	16
9 作業機の取付	17
爪の配列	
(1) ネギ刃受セット	17
(2) ネギ刃受セット	17
(3) 補助カバーの調節	18
(4) ナラシ板セット	18
(5) 残耕処理刃(M40-2)セット	18
(6) 残耕処理刃Bセット	19
(7) 溝掘セット30	19
(8) 溝掘セット45	19
(9) ドラムローターの取付	20
(10) 補助ドラムセット	20
(11) 耕うんセット	21
(12) らせん犁セット	21
(13) ウェイト取付金具・バランスウェイト	21
10 バタフライ関係	22
11 トラブルと処置	25
12 保管と燃料の抜取り	26
13 特長	27
14 主要諸元	28
(1) 本機仕様	
(2) エンジン仕様	
● 安全確認カード	

1 安全作業のための心得

■本機を使用するにあたって

使用する人の条件

次のような項目に該当する場合は本機を使用しないでください。

- 飲酒したとき
- 過労・病気・薬物の影響・その他の理由により正常な運転ができないとき
- 妊娠しているとき
- 子供の方
- 取扱方法を熟知していない人



使用する人の服装

機械に巻き込まれる事故を予防するため、はち巻き・首巻き・腰タオルをしないでください。また、滑って転倒する事故を予防するため、ヘルメット・滑り止めの付いた靴を着用し、作業に適した、だぶつきの無い服装をしてください。



服装や体の調子に注意

機械を他人に貸すとき

取扱方法をよく説明し、使用前に「取扱説明書」を必ず読むように指導してください。



機械の改造厳禁

純正部品や指定以外のアタッチメントを取付けないでください。また、機械を改造しないでください。



■点検整備をしてください

1年毎に定期点検整備を

機械の整備不良による不具合や事故を予防するために、1年毎に定期点検・整備を受け各部の保守をしてください。特に燃料パイプや電気配線は、2年毎に交換して、機械が最良の状態で、安全に作業ができるようにしましょう。



点検・整備を忘れずに

ご使用になる前と後には必ず点検・整備をおこなってください。特に、クラッチ・レバーなどの操縦装置は、確実に作動するように点検・整備してください。



■点検整備をしてください

点検・整備・掃除をするときは

点検・整備、またはアタッチメントの脱着・掃除をするときは、交通の危険がなく、機械が転倒したり動いたりしない平坦で安定した場所を選び、エンジンを止めてください。また、誤ってエンジンが始動することのないよう燃料コックを閉にし、完全な停止状態で過熱部分が十分に冷めていることを確認してからおこなってください。



排気ガスには十分に注意

屋内などでエンジンを始動する場合、排気ガスによる中毒の恐れがあります。エンジンの始動は、風通しのよい場所でおこなうようにし、十分に換気をおこなってください。



カバー類は必ず取付ける

ベルトカバーなどの防護装置を取外す場合は、必ずエンジンを止め、完全な停止状態を確認してからおこなってください。また、取外したカバー類は必ず元どおりに取付けてください。



給油・注油するときは

エンジン回転中やエンジンが熱い間は、火傷や火災の危険がありますので絶対に給油・注油しないでください。また、給油中はタバコや裸火照明などの火気は厳禁です。



長期格納するときは

火災などを予防すると共に、燃料の変質による不具合を防止するために、燃料タンク・気化器内の燃料を抜き出し、バッテリーを取外して保管してください。



人や動物を近づけない

特に子供には十分注意し、近づけないようにしてください。

エンジンの始動や発進するときには

クラッチを[切]り、変速レバーを[中立]にし、周囲の人に合図してからエンジンを始動してください。周囲の人に危害を加えたり転倒や衝突したりしないように周囲の安全を確かめ、急発進しないように徐々に発進してください。

■作業・移動をするとき

二人以上で作業するときには

二人以上の共同作業では、お互いに声を掛け合うなどして、安全を確かめ合いながら作業してください。

ベルトを交換したり、爪を交換するときや、巻き付いた草などを取除くときは

必ずエンジンを止めてからおこなってください。



回転している爪には十分気をつけて

回転する爪に巻き込まれると重傷を負うことがあります。特にロータ作業では、ロータ部を持ち上げて旋回するので足元には十分に気をつけてください。



ロータリ作業や車軸作業では機械の飛び出し(ダッシュ)に注意

ロータリ作業や車軸作業中、地面が固かったり石を噛んだ場合、またはロータリを急激に地面に降ろしたりすると、回転する爪の勢いで機械が思わぬ方向に飛び出す(ダッシュ)ことがありますので十分に注意してください。特に、川や崖、人のいる方向に飛び出す(ダッシュ)と、転落や人身事故を招く恐れがあります。



機械から離れるときには

機械から離れるときには、平坦で安定した場所におき、エンジンを止め、各部が完全な停止状態になっていることを確認してください。やむを得ず傾斜地に置くときは、必ず車止めをしてください。



ハンドルを逆向きにするときは

操向クラッチレバーの左右を切り替えないと、思わぬ方向に旋回してたいへん危険です。必ず操向クラッチレバーの切り替えをし、確実に作動することを確認してください。



後進しながら作業するときは

転倒しないように足元に十分に注意し、後方に障害物がないか確認して後方の障害物と本機との間に挟まれないようにしてください。特に、ハウス内では、壁や支柱との間に挟まれたりすることの無いようにしてください。

ロータ部が作業者の直前に来るような後退作業は危険です。ハンドルを180°回転して作業をしてください。

後進作業は足元に注意して!



■作業・移動をするとき

移動するときは

坂道・凸凹の激しい道・曲がり角・そばに溝がある道・路肩の弱い道などでは、スピードを落とし、最も安全に通行できる場所を選んで通ってください。
また、焚き火や排ワラを燃やしている近くは走行しないでください。事故や火災の原因となります。



急な発進・停止・旋回、スピードの出しすぎ禁止

スピードを出しすぎたり、急な発進・停止・旋回は、事故の原因となるだけでなく、機械の寿命も縮めますのでおこなわないでください。



わき見運転・片手運転禁止

ハンドルやクラッチは正しく操作し、わき見や片手での運転はしないでください。



坂道では

坂道では、操向クラッチレバーを操作すると、機械が思わぬ方向に旋回してしまうことがありますので操向クラッチレバーを使わずにハンドルを振って方向転換をしてください。



溝や畦を横断したり、軟弱な場所を通るときには

スリップや転倒による事故を防ぐために、幅・長さ・強度が十分あり、表面がすべらないように処理してあるアユミ板をかけ、最低速度で操向クラッチレバーを使わずに通ってください。

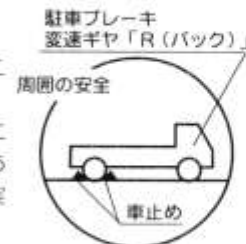
もし、落ち込んだ場合には、無理に脱出しようとせず、先ず状況判断して適切な処置を巧んでください。



トラックなどに積み込み・積降しするときは

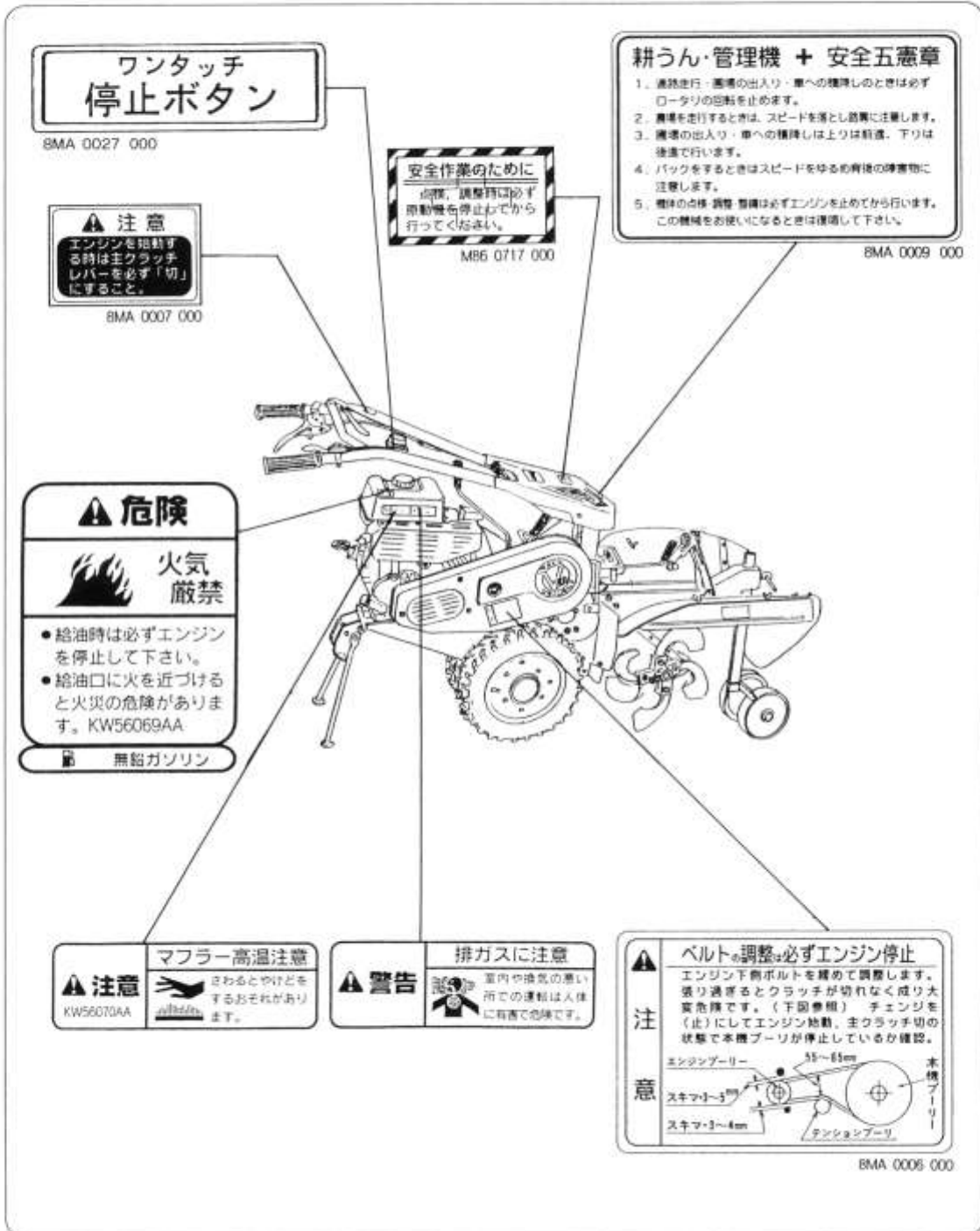
平坦で交通の安全な場所で、トラックなどが移動しないようにエンジンを止め、サイドブレーキをかけ車止めをし、幅・長さ・強度が十分あり、表面がすべらないように処理してあるアユミ板をかけ、最低速度で操向クラッチレバーを使わずにおこなってください。

また、登るときには前進、降りるときには後進でおこなってください。さらに、積込んだときには、本機に備え付けのロープでトラックに確実に固定してください。



2 安全標識貼付位置

安全に作業をしていただくために、ぜひ守っていただきたい注意事項は、安全五憲章や
 ▲付ラベルのとおりです。



▲ 注意 (押戻され、ダッキング)

特に硬い圃場や石のある圃場ではロータリーの回転力で機体が後方に押戻されることがあります。

1. チェンジレバーを(低)に入れてハンドルはしずかに上げて下さい。前輪は一度に上げ過ぎないように。
2. バック作業時は後方に注意、いつでも停止出来るよう心掛けて作業して下さい。



8MA 0008 000

▲ 注意

ご使用前に取扱説明書をよく読んで安全に作業をして下さい。

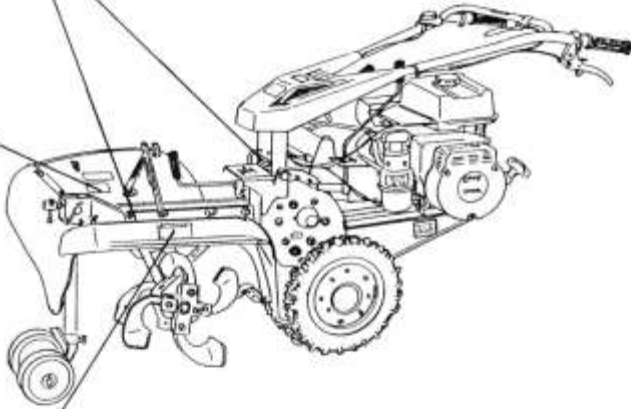
8MA 0155 000

▲ 警告



ロータリーの回転部に接触すると、ケガをする恐れがあるので、回転部に近づかないこと。

8MA 0154 000

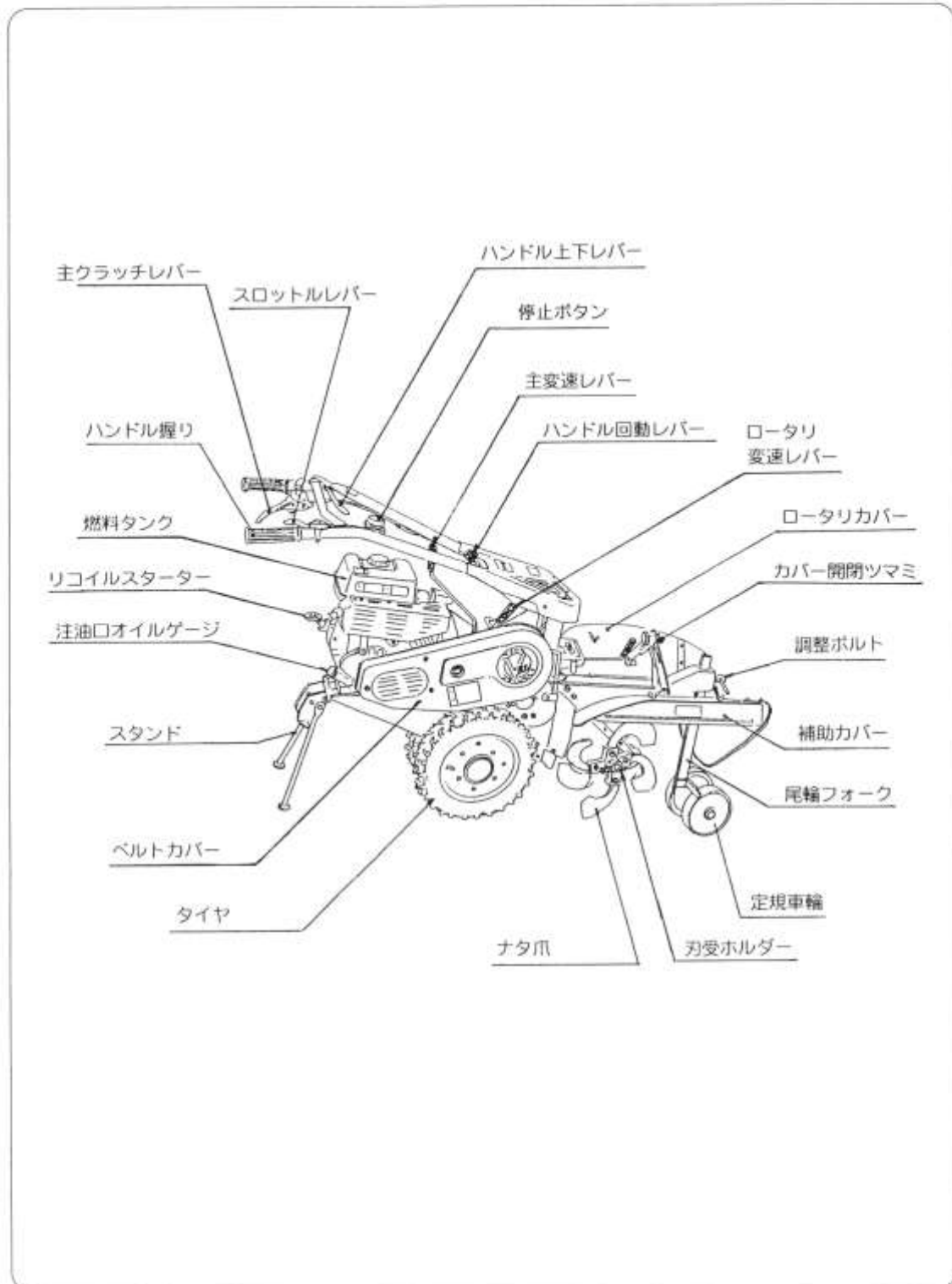


▲ 注意

運転中にカバーの下に手をいれないこと。カバーの開閉は本機を停止してから行うこと。

8MA 0004 000

3 各部の名称



4 作業前の点検

作業前には必ず次の点検をおこなってください。



危険

★燃料補給時は、くわえタバコや裸火照明を絶対にしないでください。火災を起こす危険があります。

潤滑油

(1) エンジン

① エンジンオイル

エンジンオイルは入っておりません。使用前に必ずエンジンオイルを正規量入れてください。使用オイルはS C級、SD級、SE級の良質の新しいオイルを使用してください。

夏期… SAE-30、SAE10W-30、
SAE10W-40

冬期… SAE-20、SAE10W-30



夏期

SAE-30
SAE10W-30
SAE10W-40

冬期

SAE-20
SAE10W-30

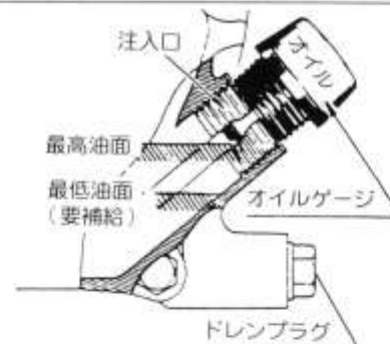


(2) エンジンオイルの交換

エンジンクランク室	1回目交換	2回目の交換
オイル交換時間	20時間後	50時間後

エンジンオイルが汚れていると各部の摩耗を早めますので早めに新しいオイルと交換してください。エンジンが暖まっている間にドレンプラグを外して古いオイルを抜きますと簡単にできます。

潤滑油量 0.7 ℓ



4 作業前の点検

(2) ミッションケース

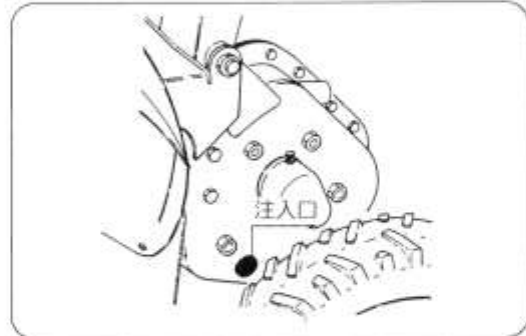
ミッションオイルの点検

ミッションオイルは工場より出荷時に入れてありますが、今一度注油口の蓋を外して確かめてください。

口元まで入っていない場合は補給してください。

ミッションケースのオイルは最初の10～20時間使用したら一度交換してください。

最初は初期摩耗がありますので早めをお願いします。またその後は年1回か2回交換してください。長く使うと老化して油としての用をなくします。

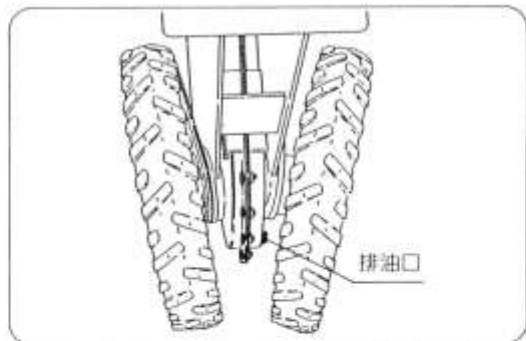


(3) 各摺動部

各摺動部にはギヤオイル、またはエンジンオイルを適宜滴下してください。

(4) タイヤの空気圧 1.5kg/cm²

タイヤの空気圧はいつも左右が同じである様にもし片方の空気圧が少ないと、タイヤ径が左右違って少ないタイヤの方向に本機が曲がってハンドルを取られますので、その時はタイヤの空気圧を平均に入れてください。



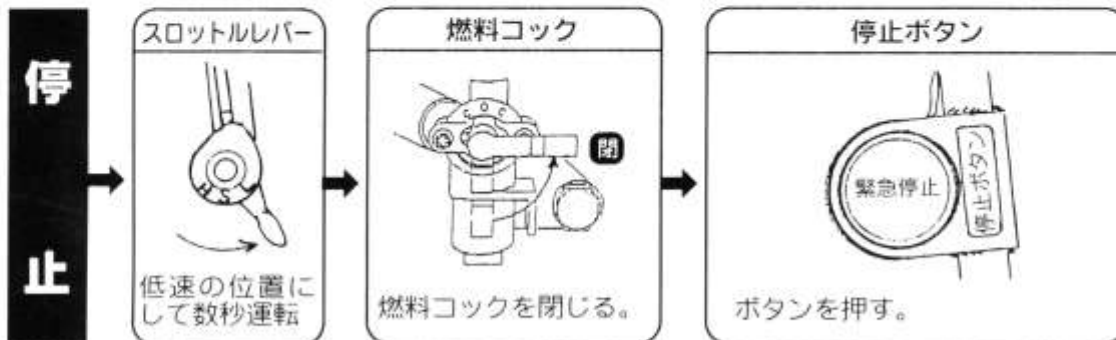
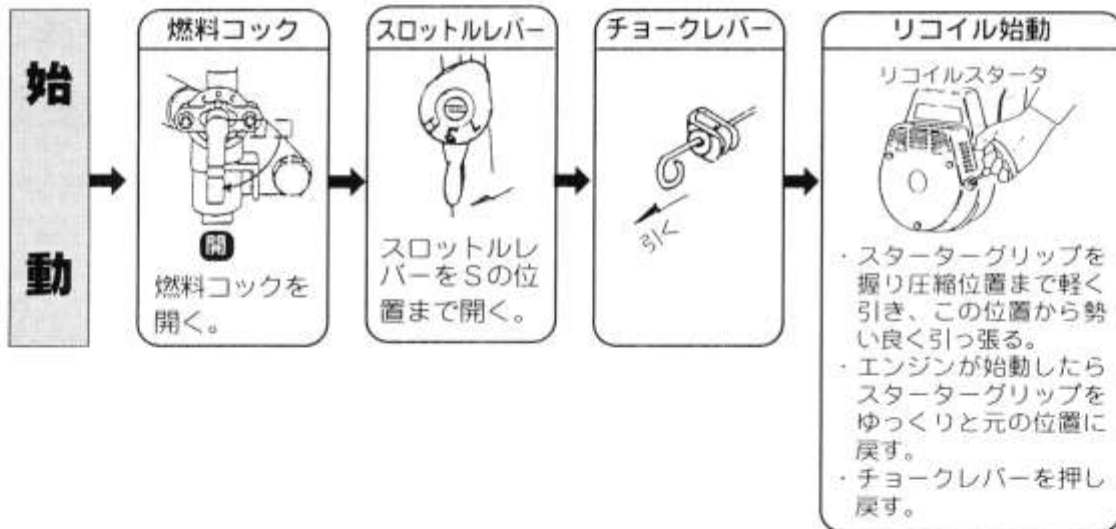
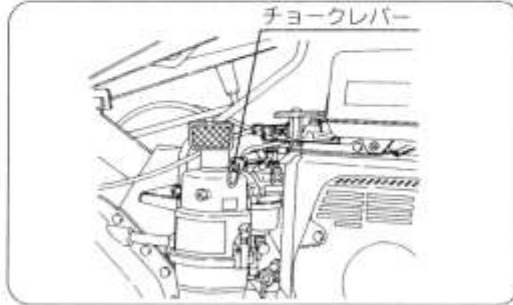
5 上手な運転のしかた



★廻りの安全を確認してください。排気ガスのたまりやすい所では換気に注意してください。

■エンジンの始動方法

- ① 変速レバーを中立（N）の位置にします。



5 上手な運転のしかた

■発進のしかた

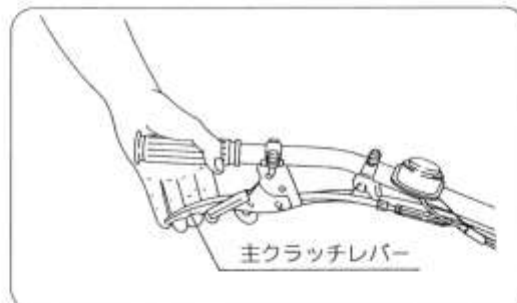


★主クラッチの接続はゆっくりおこなってください。
★ならし運転（最初の10時間程度まで）期間中は、各部になじみをつけるためエンジンを、高速回転させたり過酷な使用は避け、無理な運転をしないようにしてください。

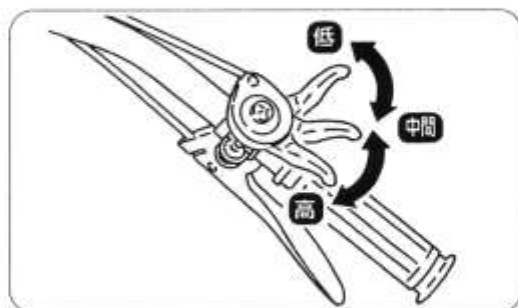
- ① 主変速レバーをL（低）・H（高）・R（後）位置に入れます。



- ② 主クラッチレバーを握ると発進します。主クラッチレバーはゆっくりと操作してください。



- ③ スロットルレバーを上げて速度を調節します。



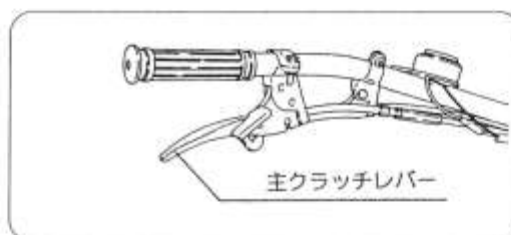
- ロータリ変速レバー
機体が前進する時、車輪と同一の回転方向が正転です。

■停止のしかた

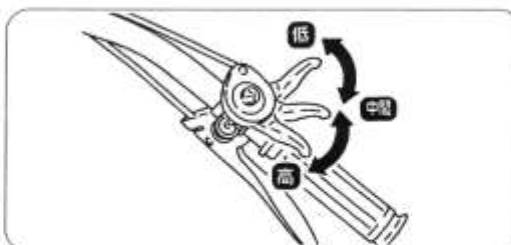


- ★エンジン停止後は、しばらくマフラーが熱くなっていますから、手を触れないでください。
- ★ESS (自己復帰停止装置) が付いていますので、再始動するときは5秒以上してから始動してください。

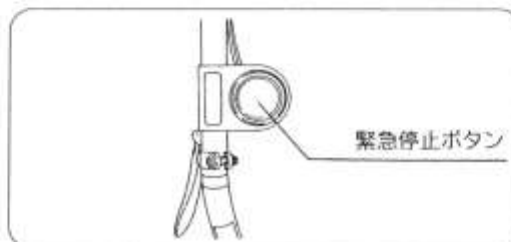
- ① 主クラッチレバーを [切] にします。



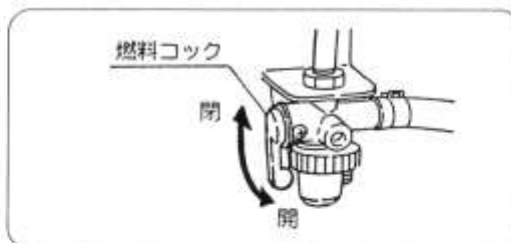
- ② スロットルレバーを [低速] にします。



- ③ 緊急停止ボタンを [押] すと、停止します。



- ④ 燃料コックを [閉] にします。



- ★コックを開いた状態で保管したり、前に倒したり、また車両で運搬すると、エンジン始動が困難となることがあります。

6 簡単なお手入れと処置

■主クラッチケーブルの調整



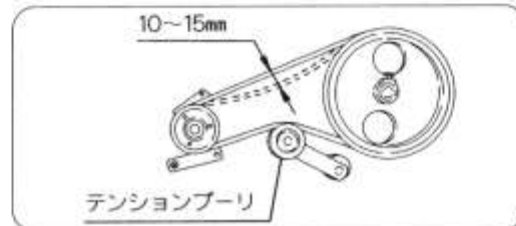
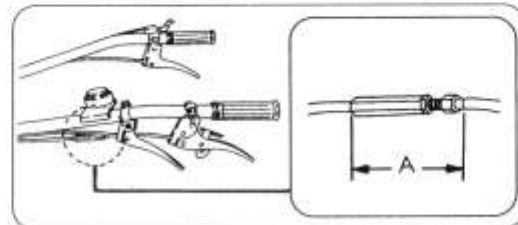
注意

- ★ベルト調整をおこなう場合は、必ずエンジンを停止しておこなってください。調整が終わったら必ずベルトカバーを取付けてください。
- ★エンジンを始動する前に、主変速レバーを止の位置にしてください。
- ★エンジンが回っているときは、危険ですので付近に近寄らないでください。

●主クラッチケーブルによる調節

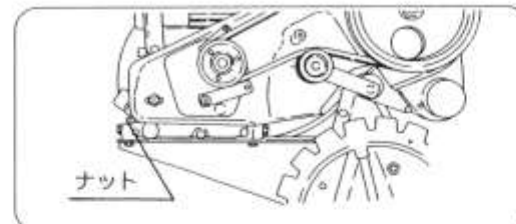
主クラッチレバーを入れた状態でベルトの中央部を指で押さえて10～15mmたわむ程度にケーブル調節金具でテンションブリーを調節してください。なお、使用初期はベルトが伸びやすいため、10時間使用後ケーブルを再調節してください。

ベルトがスリップする場合	調節金具のA部を[長]くする。
主クラッチレバーが重すぎる場合	調節金具のA部を[短]くする。



●エンジン前後による調節

ベルトが伸びたり、または新しいベルトに取替えたとき、主クラッチケーブルで主クラッチの調節ができなくなる場合は、エンジンを前後に移動調整します。エンジン固定ナット4個をゆるめて調節し、調節後は確実にナットを締付けてください。



注意

- ★主クラッチケーブルを調節した場合、エンジンを始動してクラッチの入・切が確実に作動するか確認してください。

7 作業が終わったら

■使用後のお手入れ

使用後は、必ずその日の内に清掃をおこない、各部に付いている土やゴミを落とし、各しゅう動部は錆ないように油を塗布してください。



注意

★水洗いするとき、エアクリーナ吸込口から水が入らないようにカバーをしてください。

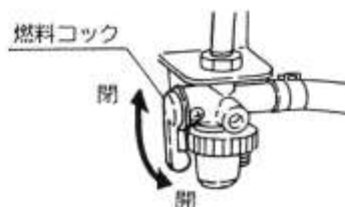
■エンジン始動不良を防ぐために

エンジン停止後、必ず燃料コックを閉めてください。



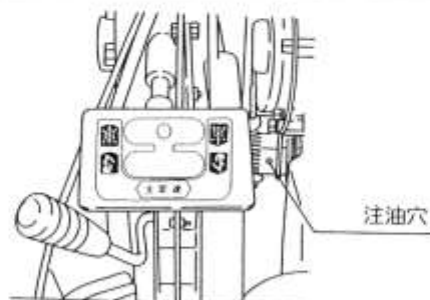
注意

★コックを開いたままの状態、保管したり、前に倒したり、また車両で運搬したりすると、エンジン始動が困難となる場合があります。また、クランクケース内へガソリンが流入することもあります。



■テンション軸受の注油

本機の主変速レバーとベルトカバーの間にテンションアームの軸受部に注油穴があります。作業後または始めに主クラッチテンションの動きを確認してください。動きが悪い場合は、注油してください。



8 運搬作業をするとき

■自動車(トラック)への積込み・運搬



- ★あゆみ板は、丈夫なすべり止めのあるものを使用してください。
- ★途中で、操向クラッチや主クラッチは絶対に切らないでください。
- ★上りは「前進」、下りは「後進」でおこなってください。
- ★トラックは、荷台に天井が無い車を使用してください。

- ① トラックを平坦な場所に止め、駐車ブレーキをかけます。
- ② あゆみ板を荷台に確実に固定します。
- ③ 上り、下りは最低速で走行します。
- ④ 主変速レバーは、「低速」に入れ、また主クラッチレバーも「入」にしておきます。
- ⑤ 機体は荷台にロープで確実に固定します。
- ⑥ 機体にロープをかけるときは、後ヒッチ・車輪・前スタンド・ハンドル部2カ所を固定してください。
- ⑦ 燃料コックは「閉」にします。
- ⑧ 雨天時には、エアクリーナの吸込口にカバーをかぶせてください。



- ★ロープをかけるとき、変速レバーや樹脂カバー、小物部品にロープが触れないように気を付けてください。
破損したり機能が損なわれる恐れがあります。
- ★エアクリーナの吸込口にカバーをかぶせないで運搬すると、雨水や砂ホコリが入りエアクリーナ性能が低下します。
- ★燃料コックを「開」いたまま運搬すると、キャブレター内でガソリンがオーバーフローし、エンジン始動が困難となります。またクランクケース内にガソリンが流入することもあります。

9 作業機の取付

■爪の配列

標準セットの爪を利用することにより、25 cmの溝掘作業ができ、ハウス内の床作り、ネギの土入れ作業等が出来ます。

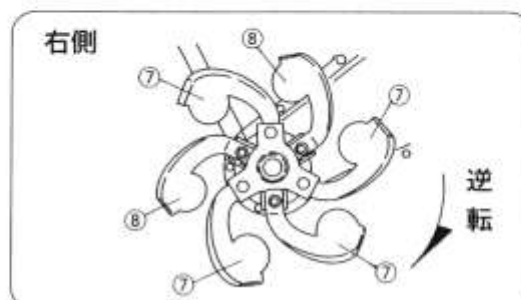
耕うん刃の取付は、右図のようにセットしてください。

右側

⑦スプーンズメ R05 0604 003

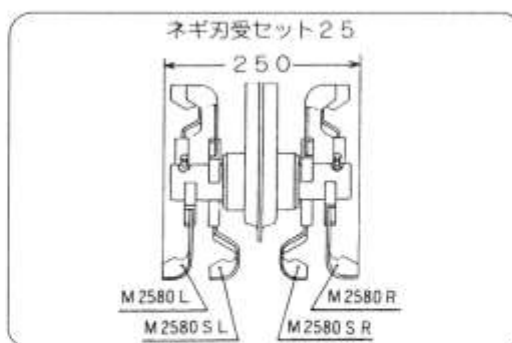
⑧スプーンズメ（曲り）R05 0603 003

左側は対称に取付けてください。



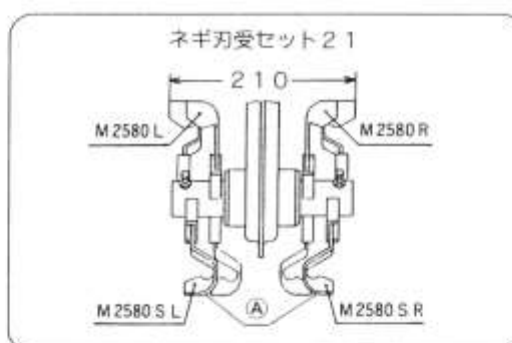
(1) ネギ刃受セット25

このセットを利用することにより、25 cmの溝掘作業ができ、ハウス内の床作り、ネギの土入れ作業等ができます。耕うん刃の取付は下図のようにセットしてください。



(2) ネギ刃受セット21

このセットを利用することにより、21 cmの溝掘作業ができ、ネギの土入れ作業等ができます。耕うん刃の取付は下図のようにセットしてください。

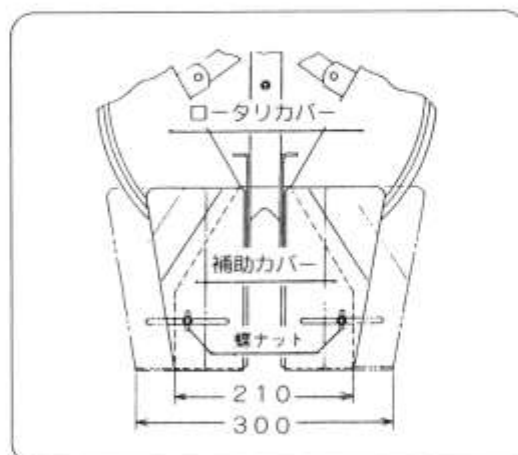


※ネギ刃受セット25と(A)印曲がり爪が異なる。

9 作業機の取付

(3) 補助カバーの調節

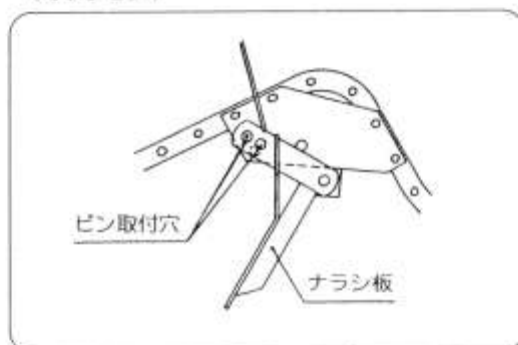
溝巾に合わせて長穴により調節してご使用ください。



(4) ナラシ板セット

このセットをご使用することにより溝掘作業の場合の残耕および溝底をきれいに処理します。

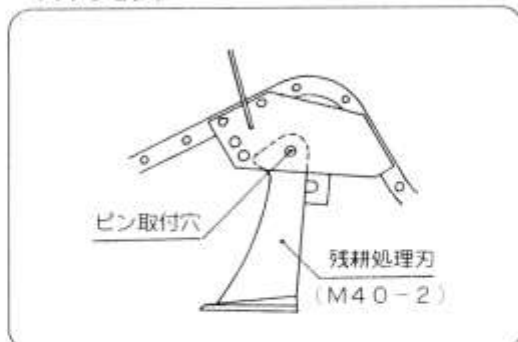
(オプション)



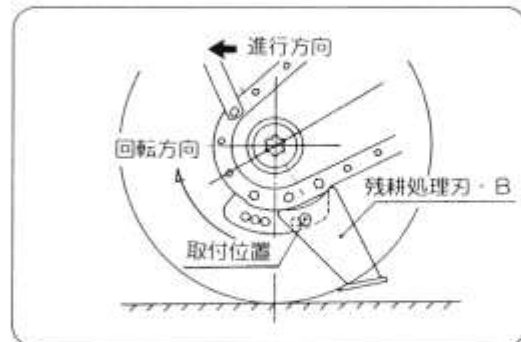
(5) 残耕処理刃 (M40-2) セット

このセットをご使用することにより中耕除草の場合の残耕を処理します。ドラムローター用にご使用ください。

(オプション)

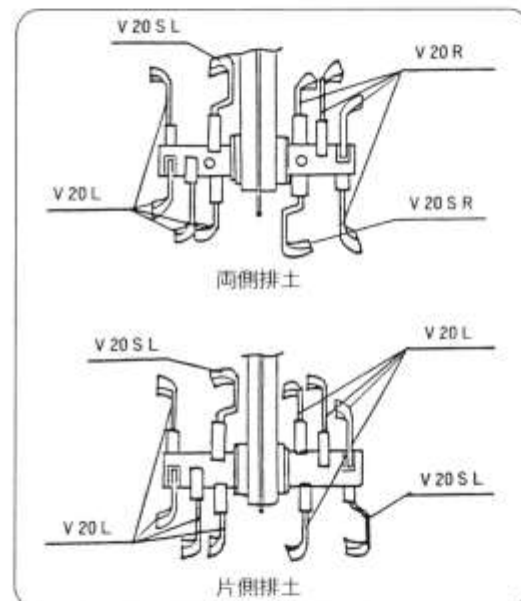


(6) 残耕処理刃Bセット



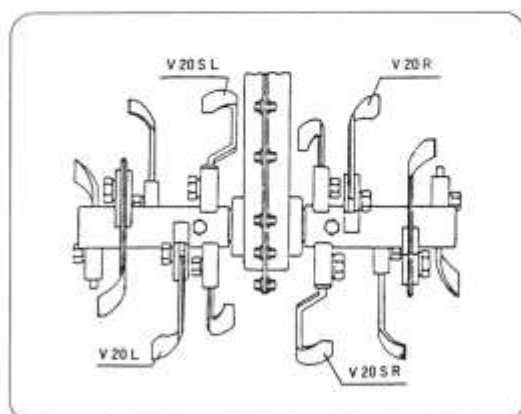
(7) 溝掘セット30

このセットを使用することにより31cmの溝掘作業ができ、ハウス内のベッド作り、片排土を利用して支柱際作業等ができます。
耕うん刃の取付は下図のようにセットしてください。



(8) 溝掘セット45

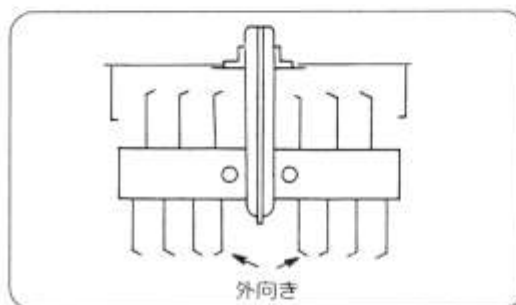
苗植付け溝、果樹桑園の堆肥溝やハウス内の溝掘りに最適です。
耕うん刃の取付は下図に示すようにセットしてください。
赤線のある刃受ホルダーには曲がり爪（V20S）を使用します。
耕うん刃数はV20（直爪）左右各5本、V20S（曲がり爪）左右各1本を用います。



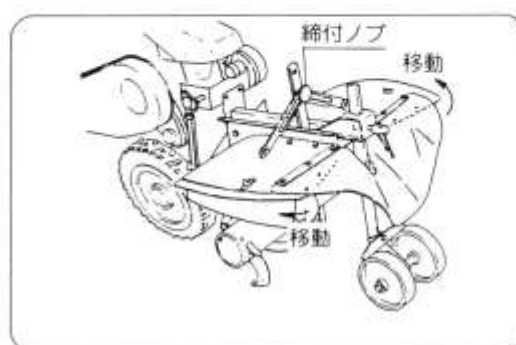
9 作業機の取付

(9) ドラムローターの取付

- ① ドラムローターの刃の配列は、ミッションケース左右の1本は外向きにその他は全部内向きに取付けてください。ローターが逆転式ですから、刃の曲がり方向に注意してください。

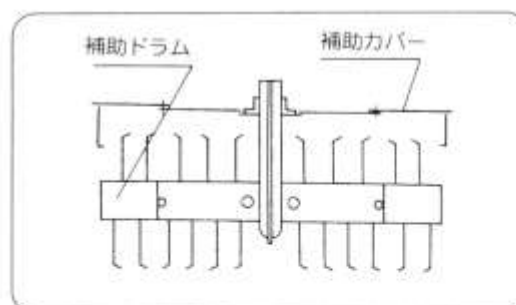
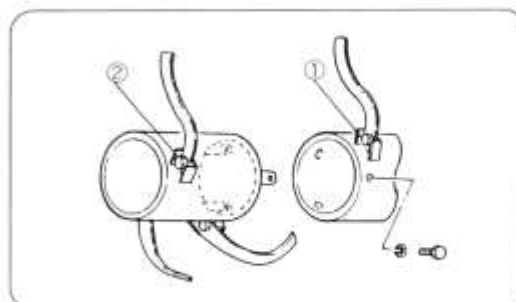


- ② ドラムローターによる中耕除草作業の場合は、右図のように垂れゴム及び締付けノブを移動して、ロータリカバーを平らにして使用してください。



補助ドラムセット

- ① 圃場条件の良い所では、能率を上げるため補助ドラムの取付けは、右図のようにドラムの外側の刃受①と補助ドラムローターの外側刃受②とが横から見てほぼ重なるような位置にして3個のボルトで取付けてください。適当に締めてから回転させて芯振れを直してから確実に締付けます。
- ② 補助ドラムをセットした場合は、刃の配列は右図のようにおこなってください。刃の配列によって、作業精度が異なってきます。
- ③ 補助ドラムをセットした場合は、それに合わせて補助カバーを取付け調整してください。



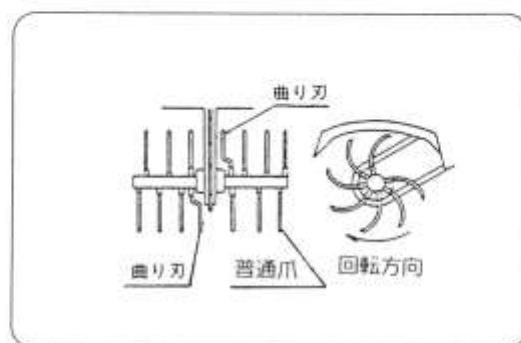
(11) 耕うんセット

固い圃場を耕うんする場合は、耕うん用刃受および耕うん刃をセットしてください。

耕うん刃の取付は右図のようにセットしてください。

作業方法は、前輪を上げて調整し、前進で10cm程度耕うんし、そのまま同じ所をバック耕うんしますと15cm程度の深耕ができます。

小石の多い圃場では、中心部の曲がり刃は外してください。

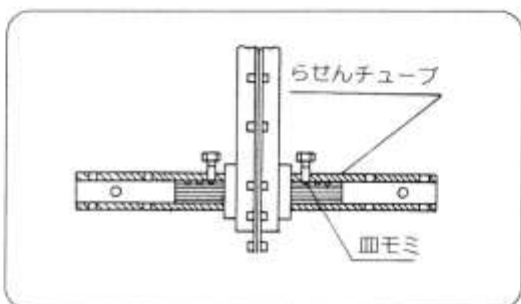
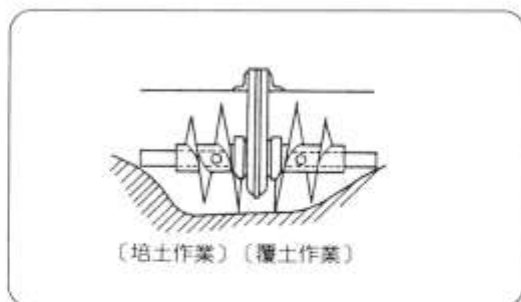


(12) らせん犁セット

① らせん犁を使用して桑園の培土、堆肥の覆土等をおこなう場合は、右図のように取付けてください。なお、右図は本機を前からみた状態です。

② らせん犁をセットする場合は、らせんチューブを取付けます。セットボルトは皿モミに合わせてください。らせん犁は、左右を間違えると作業ができません。

③ 圃場が固い場合は、一旦ドラムローターまたは耕うん刃で中耕してから、らせん犁で作業をしてください。

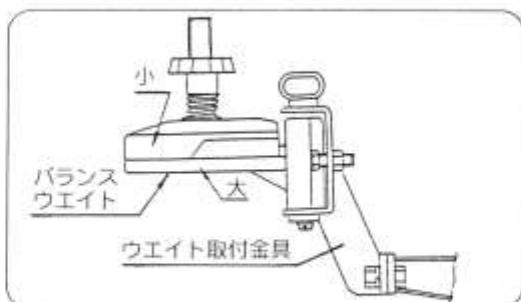


(13) ウェイト取付金具・バランスウェイト (オプション部品)

本機と作業機とのバランスを取る役目もしますので、作業により取付けてください。

バランスウェイト 大 重量8kg

バランスウェイト 小 重量6kg



10 バタフライ関係

MV-70Vの本機中央に畝圧縮整形機をセットした専用機です。圃場は全面耕起を施した後、溝掘り、畝圧縮整形が一行程でできます。またハウス内における畝作り作業も前進でおこなうので前方の見通しが良く、本機中央に畝圧縮機がセットしてありますので、非常にハンドル操作が軽くV車で溝内を進行するので機械の安定性が良く、婦女子等でも楽に安心して作業ができます。

特 長

- 1.ロータリと車輪との間に成形板があるため前後バランスが良い。
- 2.クランク方式ですので、無理がありません。
- 3.圧縮板が中央で外側左右に同時圧縮なので機械の左右の倒れがない。
- 4.作業は前進作業ですから前方が良く見え直進性が良い。
- 5.畝間に再度入って溝掘り畝立て作業ができますので非常に便利です。

仕 様

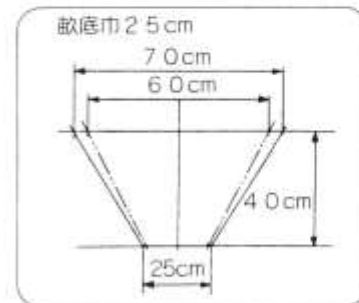
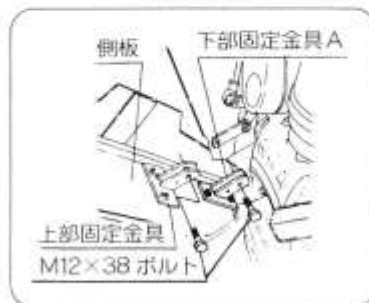
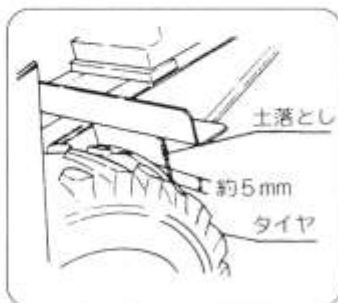
項 目	仕 様	
名 称	MV-70VPバタフライ	
方 式	クランク式圧縮 作動数269.5rpm	
使 用 変 速	本機-F1速	0.615km/h
	ロータリ-逆転	325.8rpm
溝 掘 巾	25cm	

○①標準セット25cmに合わせ組立ててあります。

○畝底巾30cmの広い畝をご要望の方には、別途30cm用側板がアタッチメントとして用意されておりますので、ご注文くださる様お願い申し上げます。

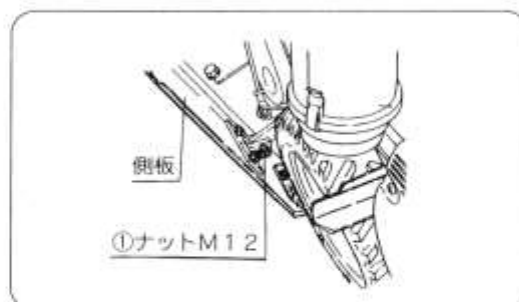
○土落とし

タイヤ上部に土落としがあります。タイヤに当たらずに注意してご使用ください。

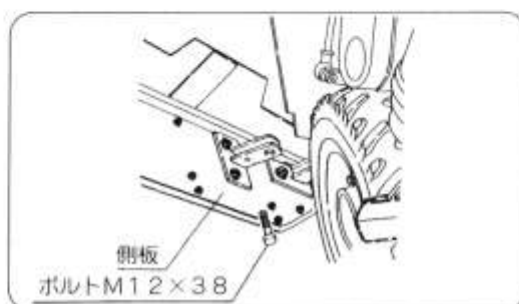


■側板の取り外し

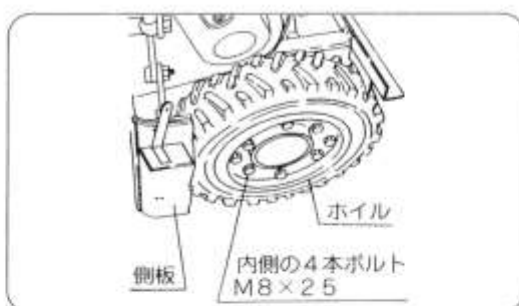
- ① 側板上部固定金具の①M12ナットを外します。



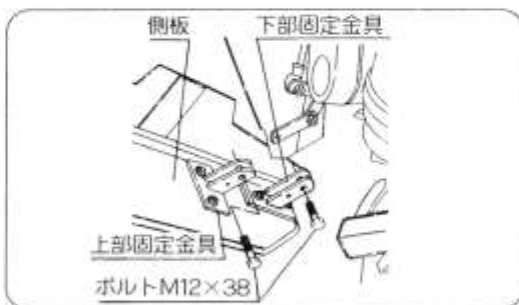
- ② ロット固定のボルトM12×38を取り除きますと、側板は外に倒れます。



- ③ タイヤの内側4本のM8ボルトを取り外し、タイヤを外します。



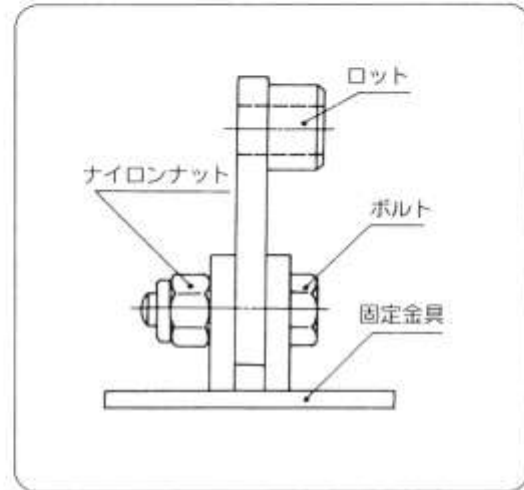
- ④ 側板下部も上部と同じ様にボルトM12×38を取り除くと側板は外れます。



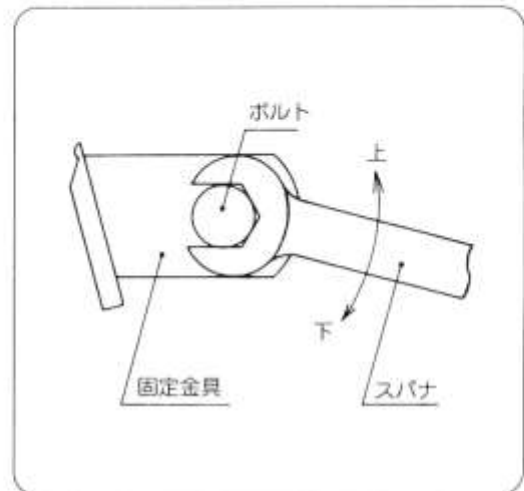
★この際には本機に台を
かけてタイヤがうく様
にしてください。
タイヤを外すのが楽に
外れます。

10 バタフライ関係

- 固定金具とロットのゆるみが生じた時はM12ボルトおよびナイロンナットをスパナにてゆるめ、間隙を少なくしてください。その際あまり締付を強くしないでください。



- 締めた後、ボルトの頭にスパナを掛け上下し、ボルトが軽く動く様な状態に締めてください。



11 トラブルと処置

原因	処置
☆エンジンが始動しないとき	
● 始動の手順が間違っている。	○ 正しい順序で始動する。
● タンクにガソリンを入れたまま1か月以上保管し、ガソリンが腐った。	○ タンク、キャブレター内の腐ったガソリンを排出し、新しいガソリンを入れる。
● フィルターポットに水やゴミが混入している。	○ ポットをはずして、フィルターエレメントを清掃する。または新しい物と交換する。キャブレター内のガソリンも排出する。
● チョークを引いた（閉じた）状態でリコイルを何回も引過ぎガソリンを吸いすぎた。	○ チョークをもどし（開き）リコイルを引くか、点火プラグをはずして乾燥させる。
● エンジン停止後、燃料コックを閉じないで本機を前に倒したり、車両で運搬したためキャブレターがオーバーフローした。	○ クランクケース内にガソリンが混入していたら、新しいエンジンオイルと交換する。
● エアクリーナエレメントが目詰まりしている。	○ エレメントをはずして清掃する。または新しい物と交換する。
● 点火プラグの火花が弱い、飛ばない。	○ 点火プラグをはずして付着したカーボンを清掃する。または新しい物と交換する。
☆エンジンの回転が上がらない、不安定、出力が不足するとき	
● エンジンが暖まってもチョークを引いた（閉じた）まま運転している。	○ チョークをもどす（開く）。
● フィルターポットに水やゴミが混入している。	○ ポットをはずして清掃する。キャブレター内のガソリンも排出する。
● エアクリーナエレメントが汚れている。	○ エレメントをはずして清掃する。
● スロットルワイヤーの引っ張りが不足している。	○ ワイヤーのセット位置を調節する。
● リコイルスタータの吸込口が目詰まり。	○ リコイルスタータの吸気口を清掃する。
☆エンジンが振れる、騒音が発生する	
● エンジン取付ボルトがゆるんでいる。	○ 取付ボルトを締付ける。
☆ハンドルのガタが多い	
● ハンドル部のガタが多い。	○ ハンドル締付ボルトを締直す。

上記の処置をしてもトラブルが直らないときは、販売店にご相談ください。

12 保管と燃料の抜取り

■保管



★カバーをかけた後、納屋に格納するときは火災の危険があるため、エンジンが冷えてからにしてください。

★圃場に保管していると、地面から湿気が多いため錆やすくなります。

- ① 主クラッチレバーは「切」の位置にして保管します。
- ② エンジンのシリンダー内に湿気が入って、始動が困難になるのを防止するためリコイルスタータハンドルを引張って、圧縮位置で止めておきます。
- ③ 燃料タンク・キャブレター・フィルターポットの中のガソリンは全て抜取ります。
(1か月以上使用しないとき)
- ④ カバーをかけ、湿気やホコリの少ない場所に置いてください。

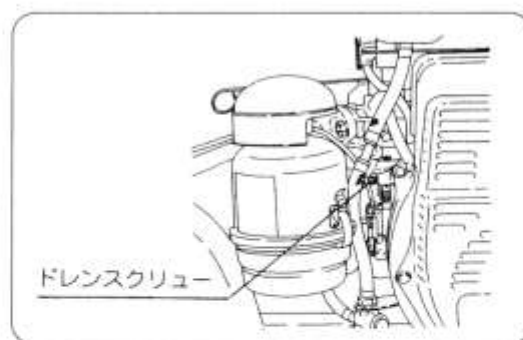
■燃料の抜取り



★燃料をそのままにしておくと、燃料タンクやキャブレター内のガソリンが腐って、次の始動が困難になります。

★燃料がこぼれたときは、きれいに拭取ってください。

1か月以上使用しないとき、燃料タンク内のガソリンはポンプなどを使用して抜取り、キャブレター内はドレンスクリューをゆるめて抜取り、フィルターポットは外して全部抜取ってください。



13 特 長

① V字型車輪

駆動輪がV車のため、溝掘やネギの土入れ作業がゴム車輪のままでき、けん引力を増し、安定性にすぐれています。また、狭い畝間作業も一輪車並にできます。

② 快適なエンジン

ハウス内作業も快適にできる様、エンジン・騒音・排気等を考慮し、定評ある4サイクルOHV式ガソリンエンジンを搭載しています。

③ 豊富な作業速度

変速は前進2段、後進2段の速度が、またロータリは正転、逆転が作業内容に合わせて選べます。主変速およびロータリ変速が手元で簡単にできます。

④ 豊富な作業機

溝掘・ネギの土入れおよび中耕から培土等、豊富な作業が可能です。

⑤ 自由なハンドル

作業者に合わせて、調節レバーによりワンタッチ操作で、ハンドル上下（5段階）はもちろん左右回転（各15°、34°）が簡単にできます。

⑥ 完璧な安全設計

エンジンからの伝導ベルトはもちろん、動力取出軸もカバーされ、安心して使用できる様考慮してあります。

標準付属部品

コード番号	品 名	個数	備 考
M40-4411-000	ボックススパナー13×17	1	
M40-4412-000	ボックスレンチ17	1	
M40-0502-000	ドラムセットボルト	1	
9NL-1000-003	ロックナット	1	
116-1518-000	ザンコウショリバ	1	MV-70P ハ不要デス
9BH-0802-073	7TボルトM8×20	1	
9SW-0800-003	バネザガネ8φ	1	
9NT-0800-003	ナットM8	1	
112-1950-000	本機取扱説明書	1	
KN52009AA	エンジン取扱説明書	1	
FA-2129700	ソケットレンチ	1	
KN13001AA	スクリュードライバー	1	
111-1530-001	工 具 袋	1	

14 主要緒元

■主要緒元

(1) 本機仕様

名称・形式		MV-50V	MV-70V	MV-70P
形式区分				
寸法	全長 (mm)	1,570		
	前幅 (mm)	610		
	全高 (mm)	1,070		
重量 (kg)		95	98	139
主クラッチ		ベルトテンション式		
速度	F 1 速 (km/h)	0.88		0.616
	F 2 速 (km/h)	3.03		2.12
	R 1 速 (km/h)	0.82		0.57
	R 2 速 (km/h)	2.84		1.99
ロータリ回転 正転 (rpm)		465		332.5
ロータリ回転 逆転 (rpm)		467		327.0
溝掘幅 (mm)		210~250		250
車輪		300-8 (外径362φ)		
ベルトサイズと本数		LA-43 *×2本	LA-43 *×2本	LA-39 *×3本
(2) エンジン仕様				
名称		GM181LN-358	GM221LN-350	
形式		空冷4サイクルOHV		
連続定格出力 (PS/rpm)		4.5PS/1800rpm	5.0PS/1800rpm	
最大出力 (PS/rpm)		5.5PS/2000rpm	7.0PS/2000rpm	
排気量 (cc)		181cc	215cc	
燃料タンク容量 (ℓ)		4.0	3.3	
点火プラグ		NGK BP5	NGK BP5ESまたは相当品	
エアクリーナ		マン式オイルバス		
始動方式		リコイルスターター式		
潤滑油容量 (ℓ)		0.7		
燃料消費率 (g/psh)		250g/psh		
乾燥重量 (kg)		18.5kg		